

# 工業高校生の英語学習実情調査と — 商業高校を除く実業高校英語教育も視野に入れて — ス界英語教育の進展策に関する一考察\*

早田 武四郎・江崎 國治 (福岡県立三池工業高校) \*\*

A Discussion on Improvement Measures for Business  
High school English Education through A Fact-Finding  
Survey of A Technical High School Students' English Learning  
— Keeping English Education of Business High School except  
That of Commercial High School as well in Mind —

Takeshirô Sôda and Kuniharu Esaki

**キー・ワード**：工業高校生対象英語学習アンケート、商業高校を除く実業高校生の英語学習推定、英検3級語彙学習課題、同、語彙テスト、英検3級テスト

## I. 研究の背景

我が国の高校英語教育を概観すると、①進学を指向する普通高校②卒業後即就職を目指す実業高校に大別されよう。①においては、そのレベルは超上位、上位、中位の<sup>じょう</sup>上、中位の<sup>ちゅう</sup>中、中位の<sup>げ</sup>下、下位の<sup>げ</sup>上、下位の<sup>げ</sup>下にランク付けすることができるであろう。なお、この中には、設置者が、国立、公立、私立の別があり、さらに、県立の中高一貫校、総合制高校の別がある。なお、英語学力と主要4科目を含めた総合的学力の相関は高いと言われているので、英語学力と総合的学力は同義と捉えて差し支えないと思われる。

一方、実業高校では、商業高校、工業高校、農業高校、水産高校などがある。普通進学高校の場合、レベルの差はあるものの、進学という目標があるために、英語教育（授業）は成立していると見て差し支えないと思われる。これに対して、実業高校のなかで、商業高校は設立趣旨〔銀行や企業等に就職して、すぐに事務を担当できるよう、経理、簿記およびパソコンの操作法を学ぶ。それと並行して語学（主に英語）〕との関連は深く、モチベーションも高い。そのために、商業高校国際科の英語授業時間数は普通進学校と同じくらいに多く、週12時間（1時間：45分または50分）である。その他の科も週5時間と他の実業高校の英語時間数2時間の2倍超である。また商業高校の中には英語教育（授業）を重視し、充実に

努めている高校も多い。因みに他の実業高校、工業高校、農業高校、水産高校、林業高校の週当たりの英語授業時間数は2時間である。生徒の英語へのモチベーションは低く、英語嫌いも多く、一般に英語力は極端に低い。授業の運営に、担当する英語教師の多くが困窮しており、対策が急がれている。本研究は、この問題に焦点を当て、実業高校（商業高校を除く）英語教育進展の手懸かりを考察する。その資料を得るために、某工業高等学校2年生113名を対象に(1)「英語学習に関するアンケート」を行い、さらに現状の打開策として考えている(2)「語彙テスト」を実施し、(3)「英検3級模擬テスト（学力診断テスト）」結果との相関度を調査する。

## II. 研究の目的

1. 本研究の第1の目的は、工業高校2年生を対象に「英語学習に関するアンケート」を実施し、工業高校生の英語学習の実情調査を行い、これを通して商業高校を除く実業高校生の英語学習の実情をイメージできるかどうかを検討することである。
2. 本研究の第2の目的は、英検3級レベルの語彙リストを配布し、1ヶ月の学習期間を与えて、実施した50問のテスト結果を分析し、語彙学習が工業高校および商業高校を除く実業高校の英語教育の打開策になるかどうかを検討することである。
3. 本研究の第3の目的は、英検3級レベルのテストを実施し、工業高校生の英語学力レベルを概観し、英検3級レベルの語彙テストとの相関度を測定し、商業高校を除く実業高校生の英語

\* Received January 20, 2004

\*\* 長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部 福祉コミュニティ学科、Faculty of Contemporary Social Studies, Nagasaki Wesleyan University, 1057 Eida, Isahaya, Nagasaki 854-0081, Japan

学力を推定することができるかどうかを検討することである。

### Ⅲ. 仮 説

1. 工業高校2年生を対象に「英語学習に関するアンケート」を実施し、工業高校生の英語学習の実情調査を行い、これを通して商業高校を除く実業高校生の英語学習の実情をイメージできる。
2. 英検3級レベルの語彙リスト（200の単語）を配布し、1ヶ月半の学習期間を与え、50問のテストを実施し、その結果を分析する。そうした経緯を踏んだ語彙学習は工業高校および商業高校を除く実業高校の英語教育の一つの打開策になる。
3. 英検3級レベルのテストを実施し、工業高校生の英語学力レベルを概観し、併せて英検3級レベルの語彙テストとの相関度を測定することによって、商業高校を除く実業高校生の英語学力を推定できる。

### Ⅳ. 研究の方法：

被験者

A県立B工業高等学校		
電子機械科B	2年生	36名
電気科	2年生	38名
土木科	2年生	39名
計		113名

1. 英語学習に関するアンケート  
平成16年7月20日実施
2. 英検3級語彙リスト（200words）  
平成16年7月20日配布
3. 英検3級語彙リスト（200words）解答  
平成16年8月21日配布
4. 英検3級語彙テスト（上記語彙リストより50題）実施  
平成16年9月11日
5. 英検3級模擬テスト実施  
平成16年12月22日

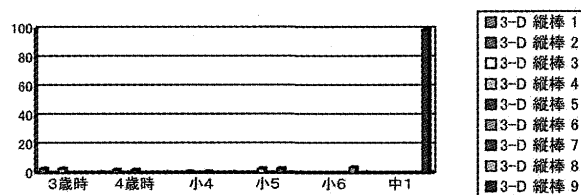
### Ⅴ. 調査結果

(1) 英語学習に関するアンケート（英語学習実情調査）の結果

1. いつ英語学習を始めましたか。

（英語学習開始時期）

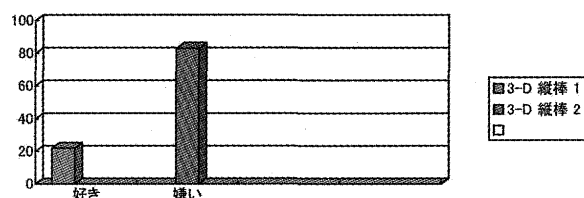
(1)	3歳時	3名
(2)	4歳時	2名
(3)	小学校 4年	1名
(4)	小学校 5年	3名
(5)	小学校 6年	4名
(6)	中学校 1年	99名
	計	112名



中学1年生時が圧倒的に多い（88.3%）。

2-1. 英語は好きですか。（英語好嫌度）

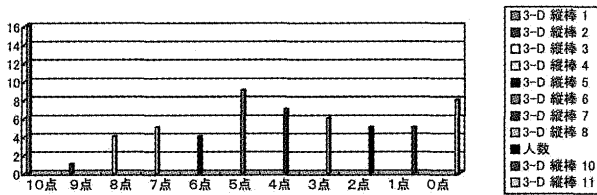
(1)	はい（好き）	23名
(2)	いいえ（嫌い）	83名



嫌いが80.6%、好きが19.4%

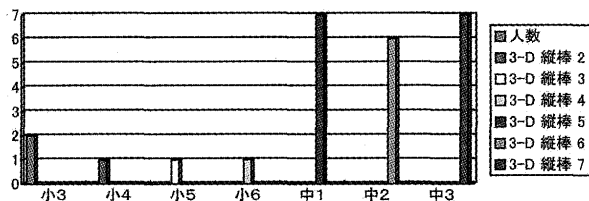
2-2. （2-1. で、はい（好き）と答えた人へ）その度合い（10点満点）

10点	16名
9点	1名
8点	4名
7点	5名
6点	4名
5点	9名
4点	7名
3点	6名
2点	5名
1点	5名
0点	8名
計	70名



2-3. [2-1で「1. はい (好き)」と答えた人へ] 英語を好きになったのはいつ頃からですか (英語を好きになった時期)。

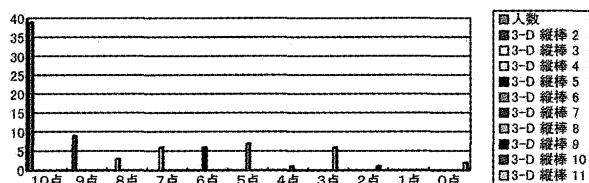
小学校 3年	2名
小学校 4年	1名
小学校 5年	1名
小学校 6年	1名
中学校 1年	7名
中学校 2年	6名
中学校 3年	7名
計	25名



2-4. 英語を好きになった動機 (記述式)  
回答者 なし

2-5. [2-1で「1. いいえ (嫌い)」と答えた人へ] 英語嫌いの度合い (10点満点)

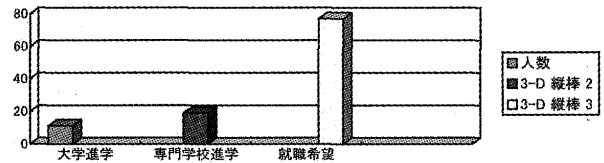
10点	39名
9点	9名
8点	3名
7点	6名
6点	6名
5点	7名
4点	1名
3点	6名
2点	1名
1点	0名
0点	2名
計	80名



2-6. 英語が嫌いになった動機を挙げて下さい (記述式)。  
回答者 なし

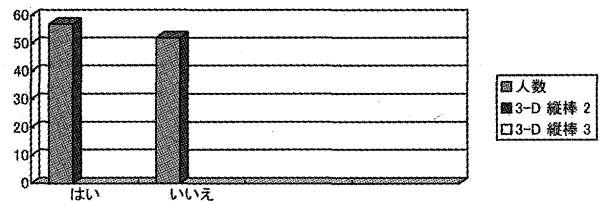
3. 高校卒業後の進路 (希望)

1.	大学進学	11名
2.	専門学校進学	19名
3.	就職希望	77名



4. 人生で英語は必要と思いますか (英語の必要度)。

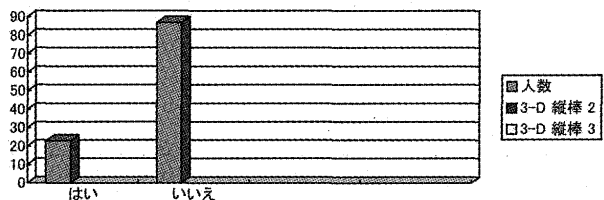
1. はい (必要)	57名
2. いいえ (不用)	52名



「人生で英語必要」52.3%、「人生で英語不用」47.7%

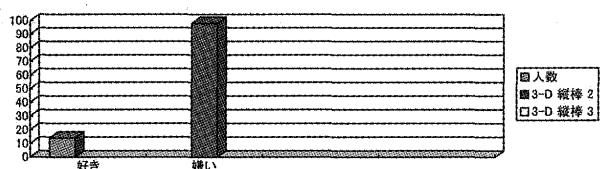
5. 英語学習の中の語彙 [単語、熟語] の学習は好きですか。

1.	はい (好き)	23名
2.	いいえ (嫌い)	87名



6. 英語学習の中の英文法の学習は好きですか (英文法好嫌度)。

1.	はい (好き)	14名
2.	いいえ (嫌い)	98名



## 7. 英語学習で困っていることを挙げて下さい

(記述式)。

英文法 (1名)

## (2-1) 英検3級語彙テスト (一元配置分散分析) の結果

## 記 述 統 計

		度数 (被験者数)	平均 値	標準 偏差
英検3級語彙テスト	1 (電子機械科)	33	6.06	4.513
	2 (電 気 科)	33	4.30	2.604
	3 (土 木 科)	37	3.30	3.778
	合 計	103	4.50	3.857
英検3級テスト	1 (電子機械科)	33	25.12	5.846
	2 (電 気 科)	33	22.61	5.000
	3 (土 木 科)	37	18.05	4.089
	合 計	103	21.78	5.773

## 等 分 散 性 の 検 定

	Levene 統計量	自由度1	自由度2	有意確率
英 検 3 級 語 彙 テ ス ト	3.483	2	100	.034
英 検 3 級 テ ス ト	2.601	2	100	.079

有意確率が「語彙テスト」で、0.5より小さい (.034, <0.5) ので「等分散を仮定しない」を採用する。

「英検3級テスト」で、0.5より大きい (.079>0.5) ので「等分散を仮定する」を採用する。

## 分 散 分 析

		平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
英 検 3 級 語 彙 テ ス ト	グループ間	135.169	2	67.585	4.888	.009
	グループ内	1382.578	100	13.826		
	合 計	1517.748	102			
英 検 3 級 テ ス ト	グループ間	904.578	2	452.289	18.126	.000
	グループ内	2495.286	100	24.953		
	合 計	3399.864	102			

英検3級語彙テスト、英検3級テスト、ともに1%水準で有意差があることが確認された。  $P < .01$  [.009 < .01 .000 < .01]

## Dunnett t (両側)

## 多 重 比 較

従 属 変 数	(I) 科 別	(J) 科 別	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率
英 検 3 級 語 彙 テ ス ト	1 (電子機械科)	3 (土木科)	2.763 (*)	.890	.005
	2 (電気科)	3 (土木科)	1.006	.890	.427
英 検 3 級 テ ス ト	1 (電子機械科)	3 (土木科)	7.067 (*)	1.196	.000
	2 (電気科)	3 (土木科)	4.552 (*)	1.196	.000

\* 平均の差は 5%水準で有意

a Dunnett t 検定は1つのグループ(土木科)を対照カテゴリとして扱い、他のすべてのグループと比較する。

※ (1) 電子機械科 (2) 電気科 (3) 土木科の順で成績が良く、語彙テストで、(1)と(3)に、英検3級テストで、(1)と(3)、(2)と(3)に有意差が認められる。

## (2-2) (英検3級レベル) 語彙テストと英検3級テストの相関

記 述 統 計 量

	平 均 値	標準偏差	N
英 検 3 級 語 彙 テ ス ト	4.50	3.857	103
英 検 3 級 テ ス ト	21.78	5.773	103

相 関 係 数

英 検 3 級 語 彙 テ ス ト	Pearson の相関係数	.294 (**)	1
	有意確率 (両側)	.003	
	N	103	103
英 検 3 級 テ ス ト	Pearson の相関係数	1	.294 (**)
	有意確率 (両側)		.003
	N	103	103

\*\* 相関係数は 1%水準で有意 (両側)

※英検3級語彙テストの得点と英検3級テストの得点間には有意な相関が認められる。

## VI. 考 察

**仮説1.** (工業高校2年生を対象に「英語学習に関するアンケート」を実施し、工業高校生の英語学習の実情調査を行い、これを通して商業高校を除く実業高校生の英語学習の実情をイメージできる。)について

ある工業高校(電子機械科、電気科、土木科)2年生を対象に行った英語学習実情調査であったが、意図的に選んだ被験者ではなく偶々アンケートの回答者になったもので、統計の原理に即したものであるから、これを基に日本のすべての工業高校生、商業高校を除くすべての実業高校生の英語学習を推定し、イメージすることは可能と考えられる。

**3. 仮説2.** (英検3級レベルの語彙リスト(200の単語)を配布し、1ヶ月半の学習期間を与え、50問のテストを実施し、その結果を分析する。そうした経緯を踏んだ語彙学習は工業高校および商業高校を除く実業高校の英語教育の一つの打開策になる。)について

語彙テストの結果を見ると、電子機械科、電気科、土木科の順で成績がよい。電子機械科は比較的優れた学生がいることが伺える。「語彙学習が工業高校および商業高校を除く実業高校の英語教育の打開策になる」については、語彙学習課題(単語:200題)の与え方(ネイティブ・スピーカーが吹き込んだ範読テープを、課題を与えると同時に渡す、など)、学習方法(1ヶ月の学習期間、分散学習の説明)、動機づけ(就職に有用で

あること、進学に役立つこと、将来に亘って自らを助けてくれること等を説いたものを印刷・配布した上で口頭説明する)、4人のグループを編成し、さらにその中にペア(2人組)をつくり、協力(互いに学習の仕方について情報交換をする、ペアで口頭のテストをし合う、など)、1ヶ月後に50題のテストを行うこと、そしてそれは学期末の評価に加えること、など)、さらには、学習したノートを提出させる、語彙学習発表会を試験終了後行う(各班から1名の発表者を互選で選び、授業で発表させる)などの手だてを講ずれば語彙学習を工業高校さらには商業高校を除く実業高校の英語教育の改善に役立てることは充分、可能と考えられる。

**仮説3.** (英検3級レベルのテストを実施し、工業高校生の英語学力レベルを概観し、英検3級レベルの語彙テストとの相関度を測定することによって、商業高校を除く実業高校生の英語学力を推定できる。)について

語彙テストの成績と英検3級テストの成績の相関係数は1%水準で有意と出たので、語彙を覚えれば、総合英語テスト(英検3級テスト)の成績が良くなることが伺えるもので、このことは仮説2とも大いに関係がある。

調査校となった一つの工業高校の成績から、全国の工業高校生、さらには商業高校を除くすべての実業高校生の英語学力を推定することは可能と考えられる。

## VII. 結 び

工業高校および商業高校を除くすべての実業高校の英語教育改善の打開策として、どのようなことが考えられるだろうか。

考察のところで触れたように、①語彙学習の推進②グループ学習（定員4人とし、その中に2つのペアを編成する）、さらに、③英語学習を楽しみ、と感じさせる「英語の歌コンクール」の実施④「動機づけ」の拡充（「VI. 考察」の項参照）⑤1週間の期間を設けた課題を与え、それに朱書きの添削や感想を書き、生徒一人ひとりと教師が心を通わせる機会をつくり、冷え切ったクラスを明るいクラスに変える（三浦, 2002, p. 17）。⑥4～5名の班を編成し、興味を惹き、且つ必要性の高い課題を設定し、1ヶ月～2ヶ月の期間を設定して、プロジェクト・ワーク（班単位課題学習）を実施（研究した結果をレポートにまとめる）し、課題提出時に発表会を行う（Soda, T. 2002）。⑦年度に1, 2回授業評価を行う（卯城, 2001）、などが挙げられるだろう。なお、①語彙学習を推奨する理由は、文法が分からなくても高得点取得が可能であり、英語力が増進され、自信につながる、そのような状況になったら、英語への抵抗感も薄れ、英語を好きになる、それから、意欲を伴った英文法並びにリーディングを通じた英文法の学習、総合的な英語学習へと発展するからである。

## 参 考 文 献

- 卯城 祐司 「英語教員」望月昭彦他 編著『新学習指導要領にもとづく英語科教育法』大修館書店 2001 所収 p. 54
- 早田武四郎 「英語教育における'学習転移材'の研究」プロジェクト・ワーク（班単位課題学習・個人課題学習）に焦点をあてー 九州英語教育学会『紀要』第30号 p. 19-26
- 三浦 孝他 編著『だから英語は教育なんだ』—心を育てる英語授業のアプローチ— 研究社 2004

## Abstract

The English course load per week of a business high school (a technical high school, an agricultural high school, a fisheries high school, forestry high

school) is 2 hours. The students' motivation for learning English is low, many of whom also dislike English and their proficiency of English is extremely low. Many of the English teachers who take charge have been at a loss to conduct lessons and the measures should be hurried.

This research focuses on this problem and discusses the clues of improving business high school (except for commercial high school) English education. In order to obtain the data for the surmise of the actual circumstances of technical high school and other business high school English Education in Japan, we administer "the questionnaire about English learning" to second-year students in a certain technical high school, vocabulary test of 50 words after the 200 word vocabulary list which is the 3rd grade of the Society for Testing English Proficiency (STEP) was studied during 2004 summer vacation and then a 3rd grade mock test of STEP. Then we calculate the degree of correlation between the above vocabulary test results and those of the 3rd grade mock test of STEP.

What kind of measures can be considered as a way for English education improvement of all the business high schools except commercial high schools? As we refer at the part of the discussion, we can give (1) promoting vocabulary learning, (2) performing a lesson evaluation once or twice in a school year (Ushiro, 2001), (3) holding English song contest that the participants can enjoy. The reason why we recommend vocabulary learning is because it is possible for them to acquire high score acquisition, even if they do not understand grammar, and it will lessen their feeling of resistance to learning English and have them like it.

## 付 録

### 英検3級語彙リスト

1. abandon (捨てる) 2. ability (能力)  
 3. absent (欠席の) 4. accept (受ける; 承諾する) 5. accomplish (完成する) 6. actual (実際の; 現実の) 7. admission (入場; 承認) 8. advantage (利益) 9. acquaintance (知識; 知人) 10. accustom (慣らす) 11. affection (愛情) 12. alarm (警報; 警報する) 13. agriculture (農業) 14. allow (許す) 15. amaze (びっくりさせる) 16. announce (発表する; 知らせる) 17. anxious (心配して) 18. approach (近づく; 接近) 19. attend (出席する; つきそう) 20. authority (権威; 権威者) 21. bathe (入浴する) 22. believe (信じる) 23. belong (属する) 24. benefit (利益) 25. bless (祝福する) 26. blood (血; 血液) 27. bloom (花が咲く) 28. bold (大胆な) 29. bottom (底) 30. brave (勇敢な) 31. breathe (呼吸する) 32. character [性格、(小説などの)登場人物] 33. chemistry (化学) 34. clerk (事務員; 店員) 35. comfortable (気持ちの良い) 36. commercial (商業の; 広告放送) 37. complete (完全な; 完成する) 38. command (命令; 命令する) 39. composition (作文; 作曲) 40. concrete (具体的な) 41. connect (結合する) 42. consider (熟考する) 43. consult (相談する; 診察を受ける) 44. content (満足(する、した); 内容) 45. continue (続ける) 46. convenient (便利な) 47. courage (勇気) 48. create (創造する; 生み出す) 49. creature (生物) 50. cultivate (耕す) 51. current (現代の、流れ) 52. custom (習慣) 53. damage (損傷; 傷つける) 54. deceive (欺く; だます) 55. decision (決定) 56. declare (宣言する) 57. defeat (打ち負かす; 敗北) 58. delight (喜ばせる; 喜び) 59. demand (要求(する)) 60. deny (否定する; 拒絶する) 61. describe (述べる) 62. desire (欲する; 欲望) 63. determine (決心する; 決定する) 64. diligence (勤勉) 65. develop (発達させる) 66. disappear (見えなくなる; 消える) 67. disappoint (失望させる) 68. distant (遠い)

69. divide (分ける; 割る) 70. domestic (家庭の; 自国の) 71. dreadful (恐ろしい) 72. drown (溺れさせる) 73. dull (鈍い; 退屈な) 74. eager (熱心な) 75. economical (経済的な) 76. educate (教育する; 訓練する) 77. emperor (皇帝; 天皇) 78. employ (雇う) 79. encourage (勇気づける) 80. entertain (楽しませる; もてなす) 81. escape (逃げる; 逃亡) 82. essence (本質) 83. establish (設立する; 確立する) 84. exact (正確な) 85. examine (試験する; 調査する) 86. excellent (優れた; 優秀な) 87. exchange (交換する) 88. expectation (期待; 見込み) 89. expensive (高価な) 90. explain (説明する) 91. export (輸出(する)) 92. express (表現する) 93. extend (伸ばす; 広げる) 94. false (偽りの; 不正の) 95. fancy (空想(する)) 96. fate (運命; 宿命) 97. favor (好意) 98. festival (祭り) 99. fisherman (漁夫) 100. float (浮かぶ) 101. forbid (禁ずる; 許さない) 102. forgive (許す) 103. fortunate (運の良い; 幸せな) 104. foundation (基礎; 創立) 105. freeze (凍らせる) 106. frequently (しばしば) 107. frighten (驚かす) 108. gather (集める; 集まる) 109. generation (世代) 110. geography (地理 [学]) 111. government (政府; 政治) 112. grade (学年; 等級) 113. gradually (だんだんに; 徐々に) 114. greeting (挨拶) 115. harbor (港) 116. harmony (調和) 117. harvest (収穫; 取り入れ) 118. heaven (天; 天国) 119. hesitate (躊躇する) 120. hide (隠す; 隠れる) 121. horizon (地平線; 水平線) 122. ignorance (無知) 123. imagination (想像(する)) 124. imitate (まねる、模倣する) 125. impression (印象、感想) 126. increase (増加(する)) 127. individual (個人(の)) 128. inferior (劣っている) 129. inform (報告する、知らせる) 130. internal (内部の) 131. involve (巻き込む; 包む) 132. ivory (象牙) 133. jealous (ねたみ深い) 134. justice (公平、正義) 135. justify (正当化する) 136. keen (鋭い、激しい) 137. kingdom (王国) 138. knee (膝) 139. knowledge (知識、理解) 140. language (言語、語学) 141. lark (雲雀) 142. laughter (笑い、笑い声)

143. laziness (怠惰) 144. leather (なめし革)  
 145. literature (文学) 146. manage (管理する、どうにか～する) 147. manner (方法、(複) 行儀) 148. marriage (結婚) 149. marvelous (驚くべき、不思議な) 150. material (原料、物質の) 151. medical (医学の) 152. memory (記憶、思い出) 153. messenger (使者) 154. military (軍隊の) 155. misfortune (不幸、不運) 156. monotonous (単調な) 157. natural (自然の、生まれつきの) 158. necessary (必要な) 159. neglect (無視(する)怠る) 160. nervous (神経質な) 161. occasion (場合、機会) 162. official (公式の、役人) 163. opportunity (機会、好機) 164. painful (苦しい) 165. parliament (議会) 166. passage (通路、(文章の) 一節) 167. passion (情熱、熱意) 168. patient (忍耐強い、患者) 169. perform (成し遂げる、演ずる) 170. persuade (説得する) 171. pleasure (愉快、楽しみ、喜び) 172. population (人口) 173. practical (実際の、実用的な) 174. precious (貴重な) 175. principle (原理、主義) 176. progress (進歩(する)) 177. prospect (眺め、探し求める) 178. provide (供給する、備える) 179. publish (公表する、出版する) 180. purpose (目的) 181. quantity (量、多量) 182. quiet (静かな) 183. rapid (速い) 184. realize (悟る、実現する) 185. reasonable (道理にかなった、理性的な) 186. recognize (認める、承認する) 187. register [登録(する)] 188. relation (関係) 189. remove (取り除く、移転する) 190. resolve (決心する、解決する) 191. revolution (革命) 192. scholar (学者) 193. scientific (科学の) 194. separate (別々の、分ける) 195. shortage (不足、欠乏) 196. skyscraper (摩天楼、高層建築物) 197. temperature (温度、体温) 198. tradition (伝統) 199. universal (宇宙の、全世界の、普遍の) 200. visible (目に見える)

英検 3 級語彙テスト問題

1. actual 2. acquaintance 3. approach  
 4. authority 5. believe 6. benefit  
 7. breathe 8. character 9. comfortable  
 10. cultivate 11. current 12. deceive  
 13. describe 14. determine 15. disappoint  
 16. economical 17. entertain 18. establish  
 19. fancy 20. forgive 21. generation  
 22. gradually 23. harvest  
 24. hesitate 25. ignorance 26. increase  
 27. individual 28. involve 29. jealous  
 30. justify 31. knowledge 32. literature  
 33. marriage 34. material 35. medical  
 36. military 37. occasion 38. opportunity  
 39. passage 40. persuade 41. practical  
 42. principle 43. provide 44. publish  
 45. quantity 46. realize 47. recognize  
 48. relation 49. resolve 50. scholar